

CICONIA

チコニア トロリースピーカー

取扱説明書

CTX08BS TROLLEY SPEAKER

Operating instructions



-  USB input
-  MP3 decoder
-  Karaoke
-  TWS True Wireless Stereo
-  FM input
-  Built-in rechargeable Battery
-  BT Bluetooth
-  AUX input

目次

製品仕様	1
安全上のご注意	2
コントロールパネル・背面パネルについて	3
リモコンについて	4
TWS機能について	4
ワイヤレスマイクについて	5
内蔵バッテリーについて	6
Bluetooth機能について	6

製品仕様

最大出力:40W
インピーダンス:4Ω
感度:91±3dB
周波数特性:50Hz~20KHz
S/N比:≥71dB
全高調波歪率:≤0.7%(1W)
ウーファー:8インチ×1
ツイーター:1インチ×1
バッテリー容量:1800mAh
Bluetooth名:CTX08BS
Bluetoothバージョン:4.2
ワイヤレスマイク周波数:261.8MHz/239.4MHz
FMラジオ周波数帯:76-108MHz
電圧:100V50/60Hz
充電時間:約3時間
連続使用時間:約2時間(※使用環境による)
再生可能ファイル形式:MP3/WMA/WAV/FLAC/APE

■付属品
ワイヤレスマイク×2(電池別売)
リモコン×1(電池別売)
ACアダプター×1
取扱説明書(本書)×1

内蔵バッテリーについて

- 本製品はバッテリーが内蔵されていますので、室内はもちろん、屋外でも使用していただけます。屋外で使用される場合は、長時間使用できるよう、使用前にバッテリーをしっかりと充電させてからお使いください。
- 本製品に電源アダプタを接続すると、内蔵バッテリーの電力供給から、アダプタからの電力を供給するように切り替わります。その間、内蔵バッテリーは同時に充電されます。アダプタの電源を切断すると、自動的に内蔵バッテリーからの電力を供給するように切り替わります。
- 本製品に電源アダプタを接続すると、自動的に充電を開始し、ディスプレイの電池マークが赤色に点滅します。充電が完了すると、電池マークの点滅が止まります。※充電が完了してからも充電を続けると、内蔵されている過充電保護回路が働き、自動的に充電を終了させ、過充電によるバッテリーの損傷を防ぎます。
- バッテリーには寿命があります。寿命に関しましては保証対象外となりますのでご了承ください。初期は約3時間でフル充電となります。フル充電で、約2時間連続使用できます。(使用環境による)充電回数が増えると、バッテリー容量が減り、充電時間も短くなります。内蔵バッテリーの交換は、販売店にご相談ください。
- バッテリーが古くなると充電できない場合がございます。バッテリーを長持ちさせる為、使用しなくても半年ごとに充電することを推奨します。

Bluetooth機能について

- スマホなどの外部機器とBluetoothで接続する方法
 - 1…本製品の電源を入れ、コントロールパネル、またはリモコンの「MODE」キーを押して、Bluetoothモードに切り替えます。
 - 2…外部機器側のBluetooth機能をONにし、Bluetooth名「CTX08BS」を選択します。接続が成功すると、通知音が鳴ります。
 - 3…外部機器側で聴きたい音楽を選択すると、本製品のスピーカーで再生されます。
- 一度接続したことがある外部機器とBluetoothで接続
 - 1…外部機器側のBluetooth機能がONになっている時に、本製品の「MODE」キーを押してBluetoothモードを選択すると、前回接続した外部機器に自動的にBluetooth接続します。※接続されない場合は、Bluetooth接続の設定を最初からやり直してください。

ワイヤレスマイクについて

- 使用前にマイクの電池蓋を開け、電池(単3形×2本/別売)を入れてください。
※プラスとマイナスの向きを間違えないよう、ご注意ください。
マイクの電源を入れ、電源LEDが光るかを確認してください。
※光が弱い、または光らない場合は、プラスとマイナスの向きを間違えていないかご確認ください。
電池が古い場合は、新しい電池と交換してください。
- マイクを使用中に、マイク音量調節つまみでマイクの音量を調節してください。
- マイクの有効距離は約10m以内です。
電池が消耗していたり、金属や壁などの障害物がある場合、有効距離は短くなります。
- マイクから口元までの距離を約5~15cm、角度を約45度で使用することを推奨します。
- 長時間使用していると電力が消耗します。
電力が消耗すると、電源LEDが点滅します。新しい電池に交換してください。
- 同じ周波数のマイクを近くで使用しないでください。
使用できなったり、ノイズやハウリングの原因となります。
- WiFiやBluetoothを使用する電子機器や、パソコンなどが近くにある場合、電波の干渉がおきる可能性がございます。

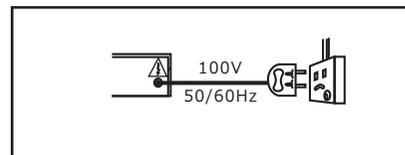
録音について

- USBを接続して、ワイヤレスマイクからの音声を録音することができます。

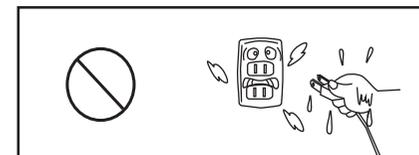
録音方法

- 1…電源を入れ、USBを差し込みます。(16GB以下のUSBをお使いください)
- 2…リモコンの⑩RECキーを押し、カウントが始まったらワイヤレスマイクからの音声を録音します。
- 3…録音が終わったら、一旦USBを取り外してください。
※そのままですと他の機能が動作しない場合があります。
- 4…自動的にUSB内に「RECORD」フォルダが作成され、録音したデータが保存されます。
※再生できない場合はパソコン等で「RECORD」フォルダから、「第一階層目」にデータを移動させてください。

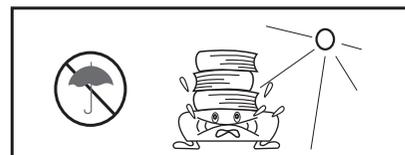
安全上のご注意



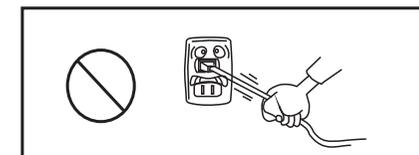
100V以外の電圧では使用しないでください。
※火災、感電の原因となります。



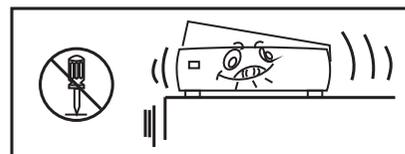
濡れた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
濡れた場所や雨の中、または表面に液体が溜まる可能性のある場所に本製品を置かないでください。
水やその他の液体が入った容器を本製品の上に置かないでください。



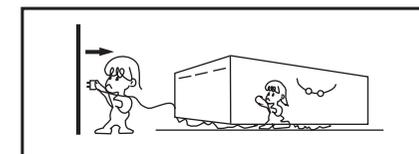
本製品の上に物を置かないでください。
本製品は負荷に耐えることができません。
直射日光を避け、ストーブなど熱くなるものから離して置いてください。
湿気やホコリの多い場所や、高温になる場所には置かないでください。



電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
抜く時はコードを引っ張らずに、必ず電源プラグ本体を持って抜いてください。

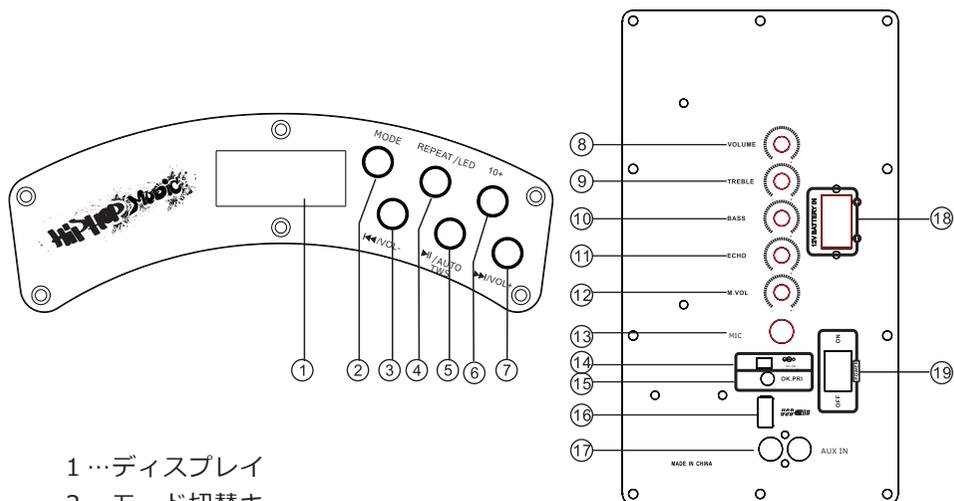


絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※火災、感電の原因となります。



長時間使用しない時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
※火災の原因となります。

コントロールパネル・背面パネルについて

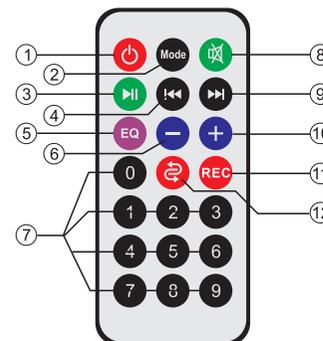


- 1…ディスプレイ
- 2…モード切替キー
- 3…前に戻る/音量ダウンキー
- 4…リピート/(長押しで)LEDライトキー
- 5…再生/一時停止/FMスキャン/(長押しで)TWSキー
- 6…10曲進むキー
- 7…次に進む/音量アップキー
- 8…主音量調節つまみ
- 9…高音調整つまみ
- 10…低音調整つまみ
- 11…マイクエコー調節つまみ
- 12…マイク音量調節つまみ
- 13…マイクジャック
- 14…AC/DCアダプタコネクタ
- 15…マイク優先ボタン ※1
- 16…USB入力端子
- 17…外部入力ジャック(AUX)
- 18…12Vバッテリー端子 ※2
- 19…電源スイッチ

※1
マイク優先機能…音楽を再生し、
マイクを使用するとマイクの音が
大きくなり、音楽が小さくなります。

※2
外付でバッテリー(別売)を接続する場合に
使用します。

リモコンについて



- 1…電源キー
- 2…モード切替キー
- 3…再生/一時停止/(ラジオモード時)FMスキャン/
(長押しで)LEDライトキー
- 4…前に戻るキー
- 5…EQモードキー
- 6…音量ダウンキー
- 7…トラック選択キー
- 8…ミュートキー
- 9…次に進むキー
- 10…音量アップキー
- 11…録音キー
- 12…リピートキー

TWS機能について

●TWS機能とは

本製品を2台揃えてワイヤレス接続させると、1つ1つのスピーカーがそれぞれ右側と左側の音を再生する、ステレオスピーカーになります。

●TWS接続方法

- 1…両方のスピーカーの電源を入れ、それぞれBluetoothモードを選択してください。
- 2…ピープ音が聞こえるまで、いずれかのスピーカーのコントロールパネルにあるTWSキーを2、3秒程長押しします。
押した方がメインスピーカー(左チャンネル)になり、自動的にもう片方のスピーカー(右チャンネル)を検索して接続します。
接続されると音が鳴ります。
- 3…外部機器をスピーカーとBluetooth接続します。
外部機器側のBluetooth機能をONにし、Bluetooth名「CTX08BS」を選択します。
接続が成功すると、通知音が鳴ります。
TWSステレオスピーカーシステムで音楽を再生できます。

※TWSモードの時、メインスピーカーへの操作は、もう1台のスピーカーも同時に実行されます。
例えば、音量の上げ下げ、前と次の曲の選択、再生と一時停止、電源のオンとオフなども同時に実行されます。

4…TWSを切断します。

TWSによって接続された2台のスピーカーは、電源をオンにして、両方がBluetoothモードの場合、自動的に再接続されます。
TWSキーを長押しすると、2台のスピーカーのTWS接続を切断します。